

## 電子音響ピープルプロジェクト 2018

8月4日(土)・5日(日) @入間市博物館ALIT

講師:柴山拓郎(東京電機大学工学部情報システムデザイン学系准教授)

地元の夏祭りの準備が進められる中、入間市博物館で行われたサイタマミュージックフォーラム(SMF)連携プログラム「電子音響ピープルプロジェクト」のワークショップに参加しました。

今回のワークショップは土日を利用した2日間の長丁場！今からどんな作品が作れるのか楽しみです。今回の参加者は小学生～大人までの10名。

参加したきっかけや使う楽器の代わりに持参したものの説明も含め、まずは参加者たちの自己紹介。小学生の男の子2人がはにかみながら自己紹介をする姿に他の参加者の方達も皆、和やかな雰囲気に。



# 電子音響ピープル

DENSHI  
ONKYO  
PEOPLE  
PROJECT



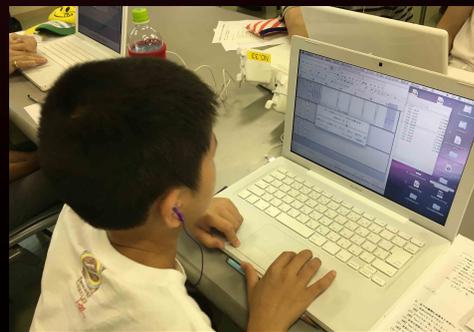
各自が用意した品物を元にした録音が始まりました。(編集スタジオにあるような立派な機材を使って)参加者一人一人が作曲家になれる第一歩です。

氷の入った水筒、鍵、自分の声など…普段気に留めない日常にあるものたちが「音」の素材としてこれから変化していきます。録音した音の素材を、初めて触

れるパソコンの編集ソフトの使い方に苦戦しつつ完成させた作品を全員で聴いて1日目は終了。小さな作曲家達の作品の完成度は大人顔負けでした。帰りは地元の夏祭りを堪能して帰路に。

2日目。ALITの講座室を借りきっての作品発表会です。自分の作品発表の際には自ら機材を操作して上演し、ちょっとした音楽家気分を味わえました。またパソコン上で聴いていた音楽と、大きなスピーカーを用いて聴く音はまったく印象が違って、良い意味での驚きを感じました。

今回のワークショップ参加者各々の作品、ワークショップ参加者全員のデータをミックスした作品、東京電機大学の学生(OB含む)の作品が上演されました。電子音楽の幅の広さにワークショップ参加者のみなさんと一緒に感心しました。



その後はALIT内のお茶を飲めるスペースで美味しい地紅茶をいただきながら、ワークショップ参加者や運営のお手伝いをしてくれた東京電機大学の学生の方達も含めた全員での講評会。ざっくばらんな感想も聞けてとても有意義なワークショップの2日間でした。

電子音響ピープルプロジェクトは10月27日・28日にウエスタ川越でワークショップが開催されます。

様々な体験が出来る入間市博物館、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

